

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

前作に病気や雑草でお困りの方は土壌消毒が有効です！

バスアミド[®]

効果を上げるポイント!

微粒剤



- ① **砕土を丁寧に行う**
→固まっている土の内部は消毒されません！
- ② **可能な限り被覆を行う**
→被覆を行わないと薬剤が抜けやすくなります
病原菌は深層に潜んでいます！
- ③ **石灰窒素と併用がおすすめ**
→根こぶ病などに対しては石灰窒素と
併用することで効果が安定します！

地温による被覆期間の目安	
地温	被覆期間
25℃以上	7～10日
20℃	10～14日
15℃	14～20日
10～15℃	20～30日以上

苗立枯病(リクトコ菌)・株腐病・萎黄病・
バーティリウム萎凋病・根こぶ病・ネグセンチュウ・
一年生雑草
20～30kg/10a 1回
は種又は定植21日前まで

害虫対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
30	ウバ類・コガ・ハイマダラノメカ・オタバコガ・ヨトウムシ ハスモンヨトウ・シロイモジヨトウ・アムシ	ブロフレアSC	2000～4000倍	前日	3回
4E	ウバ類・コガ・カブラハバチ類・ナメグリハエ・ヨトウムシ ハイマダラノメカ・ハスモンヨトウ・シロイモジヨトウ・アムシ	フィールドマストフロアブル	4000倍	前日	2回
28	ウバ類・コガ・ハイマダラノメカ・オタバコガ ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・アムシ	プレバゾンフロアブル5	2000倍	前日	3回
6	コガ・ヨトウムシ・ハイマダラノメカ・オタバコガ タナキ・ウバ・ハスモンヨトウ・アムシ	アフーム乳剤	1000～2000倍	前日	3回

病害対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象病害	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数
2	株腐病・菌核病	ロブラール水和剤	○	—	1000倍	7日前	4回
7	株腐病・菌核病	カナメフロアブル	○	○	4000倍	前日	3回
12	株腐病・菌核病	セイビアーフロアブル20	○	—	1000倍	前日	3回
11	株腐病・菌核病 べと病・ピシウム腐敗病	メジャーフロアブル	○	○	2000倍	3日前	3回

! 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！ **!**

酷暑に打ち克つ

ヒートインパクト

暑さに負けない“強さ”を引き出す

- ◆ 果菜類や結球野菜の肥大不足対策
- ◆ 高温による苗の徒長防止
- ◆ 光合成機能の低下による収量減対策

環境ストレスに強い！
Impactシリーズ



果菜類・葉菜類使用例
1000倍 100ml/10a
本葉展開後～収穫前
2～3回 葉面散布



毎月1日掲載
各作物をチェック！

